

熊本那舞協会

実績報告書

熊本邦舞協会40周年記念公演会

	申請事業内容の具体的説明
(1)事業名	第52回熊本県芸術文化祭参加事業 熊本邦舞協会40周年記念公演会
(2)目的	別紙
(3)事業実施日	平成22年11月28日(日)
(4)実施予定地	熊本市桜町1番3号
(5)実施場所	崇城大学市民ホール(熊本市民会館)
(6)主催	熊本邦舞協会
(7)共催	熊本県文化協会
(8)後援	熊本日日新聞社・NHK熊本放送局・(株)熊本放送・ (株)テレビ熊本・(株)熊本県民テレビ・エフエム熊本・ 熊本朝日放送(株)・(株)熊本シティエフエム
(9)助成	公益信託くまもと21ファンド 公益信託熊日文化スポーツ基金 財団法人熊本放送文化振興財団 熊本県文化協会文化事業特別枠補助金 熊本県文化協会文化事業 熊本市舞台芸術助成事業
(10)入場料 チケット代	入場料5,000円 その他別紙
(11)主催団体の会員の 参加費負担金	別紙
(12)参加予定人員	参加人数(予定)120名 入場者数(予定)1300名
(13)事業の実施内容	別紙

公演内容の目的

熊本邦舞協会の活動の基本的な目的は、会員各自が日本舞踊の発展と向上をめざし、各流派が切磋琢磨して互いの特色を出し合い、特に他の流派同志が競演し学び合い向上するという事を第一としております。

この目的にのっとり、今回の創立40周年記念公演会の内容をどのようにすべきであるかという事について、会員一同、真剣に議論・検討いたしました結果、三つのテーマを決め、内容を企画する事となりました。

一つ目は、古典の作品を正確に継承し、上演するという事です。

近年、大切な古典の型がだんだん崩れてきている事を危惧して原型の研究や再検討を、という声が聞かれます。私たち邦舞協会会員は、先人達の残した素晴らしい財産である古典の作品を、時代の変遷と共に、多少の改定や補足、または省略するものの、できるだけ崩さずに正確に継承し伝えていく事によって、古典舞踊を現代に生かすために努力していく覚悟でございます。

二つ目は、協会会員による群舞の作品を上演するという事です。

熊本邦舞協会は今後ますますの団結・結束を強め、40周年記念を象徴する作品を是非上演したいという意見が多数ありました。今回、熊本の地域的な財産でもある球磨川をテーマにした作品である長唄「球磨川」を、東京の花柳寿南海師に特別にお願い致しまして、邦舞協会の為に振り付けていただきました。

三つ目は、後進の育成という事です。

各社中から次世代を担う方々に集まっていただき、実際に舞台に立っていただく事により、将来プロの舞踊家になるうえで貴重な体験をしてもらいたいと考えています。

人数の面や作品の選考等はこれからですが、できれば、結束・団結を学ぶ意味でも従来にない群舞の作品が上演できればと考えています。

以上の三つのテーマを柱として邦舞協会40周年記念公演会の内容を企画しようと思っております。

実施事業の具体的説明

熊本邦舞協会40周年記念公演会 熊本水ゴ両磨り
皆様方の御陰をもちまして、11月28日(日)崇城大学市民ホールに
おきまして盛会うちに無事干籠乗を迎えることができました。

当日は、幕開きより干人ム上のお客様に御来場いただき
立ち見席がでる程のにぎやかでございました。将来プロの舞蹈家
志す20歳前後の若者達の義太夫「五人三番叟」も高い評価を
得ることができました。

会員各自の作品も 上方舞蹈義太夫「新口托」 江歌舞伎舞蹈
常磐津「将門」長唄連獅子、 邦照明をたくみに使った作品
長唄「濡れいぼめ」「花」、 バレー・ヒップホップとのコラボでの
義太夫「くるかに合戦」と多彩な作品でお客様に感動を与えたいといたしました。

最後の「熊本・水ゴ両磨り」では両磨りの流れを邦舞協会40周年の
歴史にたとえ映像とのコラボで表現することができ、会員一人一人が心を
込めて踊り、今回の公演の主旨に充分にかかわり、出演者
スタッフ一同たいへん満足しております。今後共に尚一層
精進努力していく覚悟でござります。

四十周年記念 熊本邦舞協会公演会

決 算 書

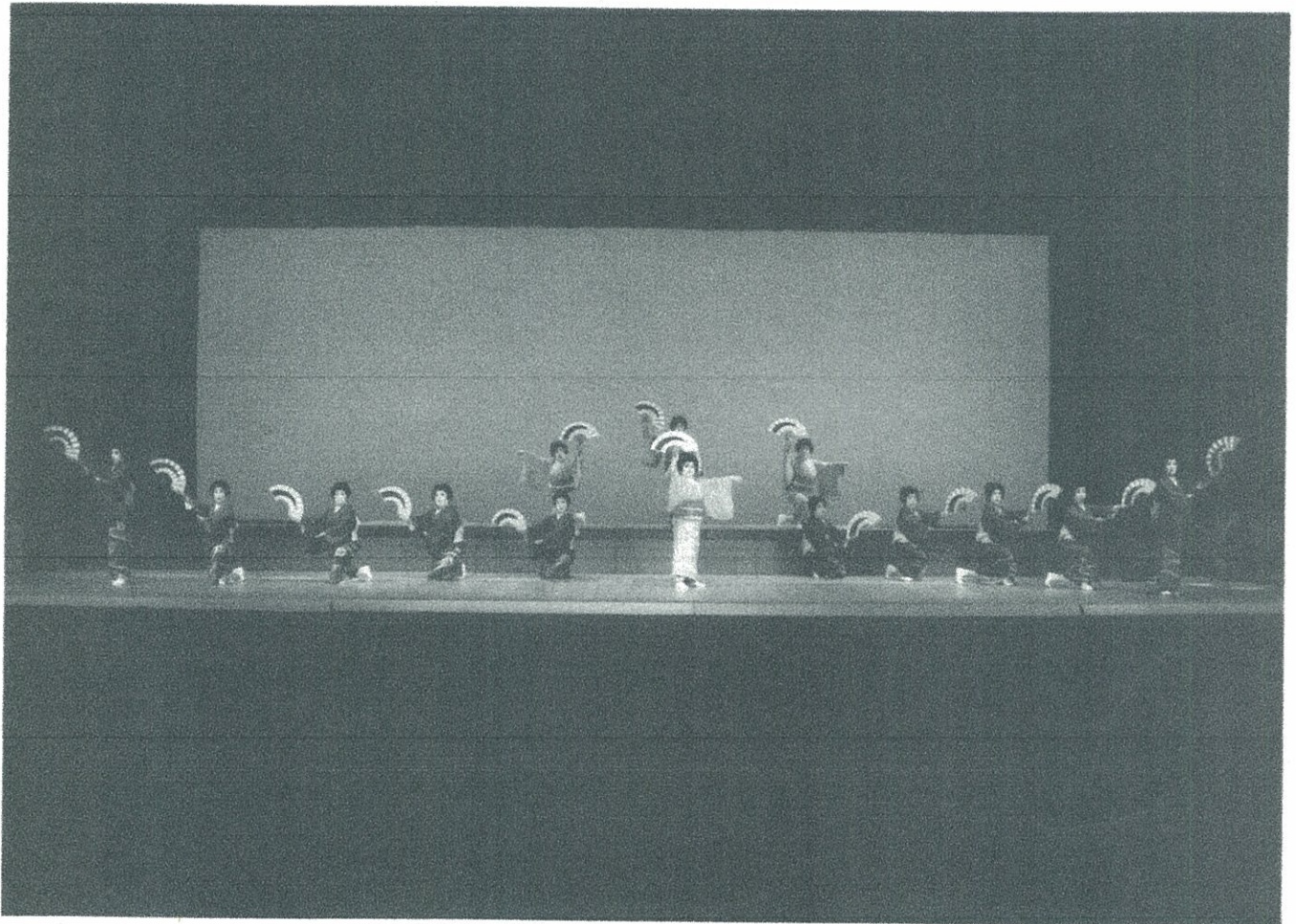
【収 入】

項目	決算額 (円)	積算基礎
入場料収入	6,500,000円	5,000円×1,300枚=6,500,000円
プログラム販売料	200,000円	1,000円× 200部= 200,000円
広告料	950,000円	
自己負担	21,600,000円	(積立金) 600,000円×36名 21,600,000円
邦舞協会負担	148,450円	
(助成金)		
公益信託くまもと21ファンド	2,000,000円	
公益信託熊日文化スポーツ基金	200,000円	
財団法人熊本放送文化振興財団	100,000円	
熊本県文化協会文化事業特別枠補助金	200,000円	
熊本県文化協会文化事業	145,000円	
熊本市舞台芸術助成事業	300,000円	
合計	32,343,450円	

【支 出】

項目	決算額 (円)	積算基礎
地方報酬費	8,000,000円	長唄 3,000,000円 義太夫 2,000,000円 鳴物 3,000,000円
印刷代他	1,000,000円	40周年記念「ざ・球磨川」取材及び撮影 203,470円 ポスター 100枚 126,000円 チラシ 2,500枚 147,000円 入場券 2,500枚 47,250円 プログラム 700冊 461,580円 お礼状 200組 14,700円
司会	150,000円	
会場費	1,427,240円	崇城大学市民ホール 1,321,460円 お稽古代、会議室 105,780円
旅費、宿泊費	1,214,800円	
諸経費	2,060,110円	タクシー代 700,000円 通信運搬費 520,110円 招待状、お礼状、ご挨拶状 送料 切手、はがき、衣装、かつらなどの運搬料 食料費 120名×1,500円×2日分 360,000円 その他 スタッフ出演料、飲み物、食事、喫茶代など 480,000円
人件費	950,000円	1日25,000円×19名分×2日間 受付(9名) 場内整理(10名) 計19名
各スタッフ借上料 (人件費も含む)	17,541,300円	衣装 7,131,000円 小道具 900,000円 顔師 1,550,000円 かつら 3,172,500円 後見 1,000,000円 狂言 150,000円 照明 550,000円 「ざ・球磨川」製作・収録費 498,750円 大道具代(吉本美術) 2,000,000円 大道具代(福岡市民ホールサービス) 589,050円
合計	32,343,450円	

水
が 球 磨 川



創作舞踊などが披露された
40周年記念熊本邦舞協会公
演会＝熊本市

文化
園

◇40周年記念熊本邦舞協会公演会 28日、熊本市の崇城大市民ホール(市民会館)であった。若手5人による義太夫「五人三番」で幕開け。義太夫「さ

るかに合戦」のほか長唄や大和楽、常磐津など16番を披露した。人間国宝の花柳寿南海が振り付けた長唄「熊本・水・さ・球磨川」では、川の映像が写し出された舞台上で藤間勢珠会長ら14人が川の流れや景色、風情を詩情豊かに表現、大きな拍手が送られた。同協会は1970年の発足以来、数々の舞踊劇や創作舞台を手掛け、流派を超えて研さんを続けている。

熊本日日新聞
H22 11 29 付